



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 東海カーボン株式会社

コード番号 5301

URL <https://www.tokaicarbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長坂 一

問合せ先責任者 (役職名) 理事財務経理部長 (氏名) 平井 直樹 (TEL) 03-3746-5100

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 2023年9月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	178,428	13.6	21,738	30.0	24,109	24.0	15,904	71.9
2022年12月期第2四半期	157,070	33.8	16,717	52.7	19,448	82.7	9,253	62.1

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 57,024百万円(23.4%) 2022年12月期第2四半期 46,200百万円(93.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	74.60	—
2022年12月期第2四半期	43.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	630,385	353,531	50.7
2022年12月期	576,465	300,868	46.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 319,648百万円 2022年12月期 268,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2023年12月期	—	18.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	410,000	20.5	45,000	10.9	45,000	5.8	26,000	16.0	121.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年12月期2Q	224,943,104株	2022年12月期	224,943,104株
-------------	--------------	-----------	--------------

② 期末自己株式数

2023年12月期2Q	11,726,674株	2022年12月期	11,748,117株
-------------	-------------	-----------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年12月期2Q	213,204,105株	2022年12月期2Q	213,186,824株
-------------	--------------	-------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2023年8月9日（水）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を電話会議方式で開催する予定です。

この説明会の資料は、開催日当日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年1月1日から2023年6月30日まで)の世界経済は、インフレによる購買力低下や高金利に見舞われながらも、供給制約の緩和や中国の経済再開等をプラス要因として、減速傾向にはあるものの深刻な景気後退を回避する展開となりました。一方で、米中対立激化やウクライナ危機の長期化をはじめとする地政学的な緊張の高まりや、主要国における金融政策や財政政策の変更等がリスク要因となり、依然として先行きに係る不確実性は残されております。

このような情勢下、当社グループにおいては、本年2月に2023年から2025年までの3年間を対象とするローリング中期経営計画「T-2025」を開示いたしました。「主力事業の成長軌道回帰」「事業ポートフォリオの最適化(選択と集中)」「サステナビリティ経営基盤構築」の3つの基本方針を掲げ、2025年の定量目標として、売上高4,840億円、営業利益690億円、ROS14%、EBITDA 1,130億円の達成を目指しております。主力事業である黒鉛電極やカーボンブラックを中心に、原材料価格等の原価上昇を売価に転嫁することにより適正利潤確保を図るとともに、将来の需要拡大を睨んだ生産性の向上と生産能力の増強も着実に進めています。また、カーボンニュートラルの実現に向け、2022年2月に発足したカーボンニュートラル推進委員会を中心に連結ベースでのCO2排出量の削減を進める一方、関連技術の探求・調査にも取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比13.6%増の1,784億2千8百万円となりました。営業利益は前年同期比30.0%増の217億3千8百万円となりました。経常利益は前年同期比24.0%増の241億9百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比71.9%増の159億4百万円となりました。

セグメント別の経営成績は下記のとおりです。

[黒鉛電極事業]

世界的な鉄鋼景気減速により、各地域において電炉の稼働率が低下したため、当社黒鉛電極の販売量は前年同期と比較して落ち込みましたが、北米を中心に大口径電極の出荷が増加したため平均売価が上昇しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比4.3%増の304億7百万円となり、営業利益は前年同期比8.2%増の31億6千4百万円となりました。

[カーボンブラック事業]

一部タイヤメーカーの生産調整がありましたが、新車用関連需要は回復してきており、当社販売数量は前年同期並みとなりました。また、米国を中心とした販売価格の改定により、環境設備投資の減価償却費負担の一部が補填され、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比15.9%増の738億3千1百万円となり、営業利益は前年同期比125.1%増の107億7千3百万円となりました。

[ファインカーボン事業]

半導体製造装置用部品は、スマートフォンやパソコン需要低下による顧客での在庫調整及び米国の対中政策の影響の長期化から、Solid SiC製品を中心に販売が大きく影響を受けました。一方で、パワー半導体向け製品及び一般産業向けの出荷は堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比9.8%減の213億7千3百万円となり、営業利益は前年同期比25.7%減の50億4千1百万円となりました。

[スマルティング&ライニング事業]

エネルギー価格と一次アルミ地金価格が共に下落基調にあるなか、アルミ電解用カソードは新興国向けの需要にも支えられ、販売量は堅調に推移しました。また、売価については生産コスト上昇を反映させ採算を確保しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比55.9%増の414億7千3百万円となり、営業利益は13億9千2百万円(前年同期営業損失は3百万円)となりました。

[工業炉及び関連製品事業]

工業炉及び発熱体の売上高は、主要需要先であるエネルギー関連業界向けの売上が第3四半期以降に集中することに加え、電子部品関連業界の需要の回復の遅れにより、前年同期比減となりました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比35.9%減の57億7百万円となり、営業利益は前年同期比49.8%減の12億6千3百万円となりました。

[その他事業]

摩擦材

中国建設機械市場低迷の影響はあるものの主要用途である鉱山、二輪、電磁向けが引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、摩擦材の売上高は前年同期比8.2%増の48億5千9百万円となりました。

負極材

当社材が採用されているEV及びESS (Energy Storage System) の販売回復により、前期比で販売数量が増加しました。

この結果、負極材の売上高は前年同期比73.2%増の7億9百万円となりました。

その他

不動産賃貸等その他の売上高は、前年同期比2.5%減の6千6百万円となりました。

以上により、その他事業の売上高は前年同期比13.4%増の56億3千5百万円となり、営業利益は前年同期比64.0%増の6億3千5百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	70,909	70,072
受取手形及び売掛金	65,197	65,707
商品及び製品	26,198	29,713
仕掛品	41,584	52,376
原材料及び貯蔵品	33,548	35,018
その他	9,528	9,528
貸倒引当金	△274	△313
流動資産合計	246,691	262,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,944	33,736
機械装置及び運搬具（純額）	90,597	94,855
土地	8,035	9,497
建設仮勘定	44,366	62,251
その他（純額）	8,004	9,101
有形固定資産合計	181,948	209,442
無形固定資産		
のれん	52,837	53,616
顧客関連資産	55,724	57,020
その他	10,276	12,677
無形固定資産合計	118,839	123,313
投資その他の資産		
投資有価証券	22,548	28,551
退職給付に係る資産	2,927	2,883
繰延税金資産	2,210	2,885
その他	1,325	1,230
貸倒引当金	△25	△24
投資その他の資産合計	28,986	35,525
固定資産合計	329,773	368,282
資産合計	576,465	630,385

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,119	21,339
電子記録債務	4,153	3,288
短期借入金	10,940	15,396
コマーシャル・ペーパー	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	9,805	3,120
未払法人税等	5,673	4,337
契約負債	2,271	2,654
賞与引当金	3,887	2,192
その他	21,845	19,780
流動負債合計	146,696	132,109
固定負債		
社債	55,000	55,000
長期借入金	35,706	43,027
繰延税金負債	24,171	30,032
退職給付に係る負債	6,567	7,216
役員退職慰労引当金	105	99
執行役員等退職慰労引当金	58	54
環境安全対策引当金	315	374
その他	6,974	8,938
固定負債合計	128,900	144,743
負債合計	275,596	276,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,436	20,436
資本剰余金	13,811	13,825
利益剰余金	191,750	204,457
自己株式	△7,236	△7,224
株主資本合計	218,761	231,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,587	13,588
繰延ヘッジ損益	274	329
為替換算調整勘定	37,681	71,704
退職給付に係る調整累計額	2,521	2,530
その他の包括利益累計額合計	50,065	88,153
非支配株主持分	32,041	33,882
純資産合計	300,868	353,531
負債純資産合計	576,465	630,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	157,070	178,428
売上原価	115,080	127,880
売上総利益	41,990	50,547
販売費及び一般管理費	25,272	28,808
営業利益	16,717	21,738
営業外収益		
受取利息	211	625
受取配当金	381	431
持分法による投資利益	158	145
為替差益	2,973	2,111
その他	269	505
営業外収益合計	3,995	3,820
営業外費用		
支払利息	519	717
その他	745	732
営業外費用合計	1,264	1,449
経常利益	19,448	24,109
特別利益		
固定資産売却益	26	173
投資有価証券売却益	29	24
特別利益合計	56	197
特別損失		
固定資産除却損	162	18
固定資産売却損	0	0
関係会社出資金売却損	160	-
投資有価証券売却損	0	-
特別損失合計	323	19
税金等調整前四半期純利益	19,181	24,287
法人税、住民税及び事業税	4,372	4,696
法人税等調整額	3,107	2,004
法人税等合計	7,479	6,700
四半期純利益	11,701	17,586
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,447	1,682
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,253	15,904

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	11,701	17,586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△119	4,003
繰延ヘッジ損益	36	54
為替換算調整勘定	33,989	35,258
退職給付に係る調整額	525	8
持分法適用会社に対する持分相当額	67	112
その他の包括利益合計	34,498	39,437
四半期包括利益	46,200	57,024
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,481	53,992
非支配株主に係る四半期包括利益	4,718	3,032

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	黒鉛電極 事業	カーボン ブラック 事業	ファイン カーボン 事業	スマルテ イニング& ライニン グ事業	工業炉及 び関連製 品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	29,164	63,729	23,695	26,606	8,904	152,100	4,970	157,070	—	157,070
セグメント間の内部 売上高又は振替高	160	32	66	164	216	640	—	640	△640	—
計	29,324	63,761	23,762	26,771	9,121	152,740	4,970	157,711	△640	157,070
セグメント利益又は損 失(△)	2,925	4,785	6,787	△3	2,518	17,012	387	17,399	△681	16,717

- (注)1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△681百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△641百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であり、
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、東海炭素(天津)有限公司の全出資持分を譲渡し、連結の範囲から除外したことにより、前連結会計年度末に比べ、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は、「カーボンブラック事業」セグメントにおいて5,977百万円減少しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	黒鉛電極 事業	カーボン ブラック 事業	ファイン カーボン 事業	スマルテ イニング& ライニン グ事業	工業炉及 び関連製 品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	30,407	73,831	21,373	41,473	5,707	172,792	5,635	178,428	—	178,428
セグメント間の内部 売上高又は振替高	169	13	41	200	99	524	—	524	△524	—
計	30,577	73,844	21,414	41,674	5,807	173,317	5,635	178,952	△524	178,428
セグメント利益	3,164	10,773	5,041	1,392	1,263	21,635	635	22,271	△533	21,738

- (注)1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△533百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△654百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であり、
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。